

あかるいまち21

No.1215 2019年2月12日組員活動推進課 082-532-1264

	2月累計	2018年度
組員ふやし	26人	1225人
出資金ふやし	593万円	10872万円
純増	314万円	1525万円

鬼がきた！鬼がきた！のびのびクラブに鬼がきた！

1月30日（水）、子育て広場「コープのびのびクラブ」で節分行事を行いました。まずは、鬼退治の準備として、新聞紙を丸めて豆を作り、そして壁に貼ってある鬼の絵に向けて豆を投げる練習をしました。この時にはまだ平気な顔をしていた子どもたちも、鬼が登場した途端に表情が一変！あちこちから泣き声や叫び声が聞こえてきました。鬼が怖くて豆を投げるどころではありません。「しっかり豆を投げて鬼を



退治しないと、鬼は帰らないよ～と・・・

「鬼は外～福は内～」という余裕はありませんでしたが、子どもたちもがんばって鬼に豆を投げていました。お母さんたちはというと・・・子どもたちのあまりの豹変さに笑いが止まらず涙を流されている方もいらっしゃいました。最後に鬼さんたちと一緒に記念撮影をしました(^_^)

班会から広島市がすすめる 地域高齢者交流サロンに

1月30日、西部ブロックで2つ目のサロンが誕生しました。名前はいきいき五日市会。元々は、他支部の運営委員さんのご親族の自宅で始めた、いきいき100歳体操をする班会でした。班員さんが公民館で「週1回近所の方と一緒に体操してるのよ」と立ち話をしたのがきっかけで、地域包括支援センターの方と地域の民生委員さんがいきいき五日市会を訪問されました。「今、広島市は介護予防拠点を広げている最中なんです。現在は生協の班会としてこちらで体操をされていますが、ご近所の方を受け入れるのが難しくなければ、サロンにしませんか？」と提案され、班員全員で意思を確認しました。介護予防拠点になることで、広島市から複数回定期的に講師を派遣してもらえたり、体力テストを行って体操の成果を確認したり、カープバージョンのいきいき100歳体操のDVDをもらえたりと、色々特典がついてくるそう。また、民生委員さんにサロンとして認識してもらうことで、介護予防が必要な方を地域で見つけたら、いきいき五日市会に紹介してもらうこともできます。元々は「自宅にいろんな人が来てほしい」と始めた自宅班会でもあったので、全会一致でサロンにすることを決定しました♪実は、30日にいきいき五日市会に参加してくれた民生委員のFさんも、広島中央保健生協の組員だったそうです。「あのあたりに住んでるのよ」「グランドゴルフも近所でしててね」とご近所同士で盛り上がりました！



ラストスパート月間成果（2/8時点）

- 積み立て増資者目標(200名)まであと 108名
- 出資金純増目標(3000万円)まであと 1,154万円

